

## 平成 27 年度 第 2 回理事会議事録

- ◇ 期 日 平成 28 年 3 月 20 日（日） 14:00～16:00
- ◇ 場 所 (株)開発工営社会議室
- ◇ 出席数 理事 25 名の内、出席 19 名、欠席 6 名
- ◇ 議 事

### 1. 平成 27 年度事業報告について

- ・ 普及育成委員会より、前回の理事会以後に行われた大会等について資料を基に報告があった。

### 2. 平成 27 年度決算中間報告について

- ・ 会計担当理事から、資料に基づき現時点までの会計状況について報告があった。
- ・ 第 1 回理事会では、60 万円程度の赤字となる見通しとしていたが、各事業の精算、経費等の精査などにより、10 万円程度の黒字決算となる見通しである。

### 3. 平成 28 年度事業予算について

- ・ 会計担当理事より、平成 28 年度事業予算案について資料に基づき説明があった。
- ・ 各委員会からの新規事業を含めた予算申請をそのまま集計すると、220 万円ほどの赤字予算となることから、経費を削減し、普及育成、高校の各新規事業については申請額の 50% 査定、継続事業については原則 10% 削減の予算査定とした。その結果、43 万円の赤字となる予算を組んだ。きわめて厳しい予算となった。
- ・ 平成 28 年度の北海道協会招待試合の東海大学対明治大学戦は、昨年のワールドカップからのいい流れを活かして月寒ラグビー場を満席にしたいと考えている。理事各位には是非とも協力願いたい。28 年度予算としては収支ゼロとして計上した。是非とも黒字にしたい。
- ・ 早慶戦のチケットについては、これまで通り協会役員と加盟チームに割り当てをしており、積極的な販売活動をしてほしい。
- ・ 高校南北選手権大会テレビ放映について、協賛金と特典及び放映料など内容を吟味して実施方針を早期に決めることが確認された。
- ・ 理事会にて平成 28 年度事業予算案が承認された。

### 4. 平成 28 年度事業計画

- ・ 庶務担当理事より、各委員会の事業計画案についての資料が示され各委員会と確認した。
- ・ 北見支部理事より、これまでの北見市ラグビーフェスティバルが第 30 回を迎えたのを機に、網走市とともに開催するオホーツクラグビーフェスティバルと改名したことが報告された。開催日程は、7 月 22 日、29 日が北見市で、7 月 30 日は網走市が会場となる。
- ・ いわて国体について日程の説明があった。少年男子（15 人制）は 10 月 3 日～7 日、成年男子（7 人制）は 10 月 4 日・5 日、女子（7 人制）は 10 月 6 日・7 日の開催となる。

- これに関連して、女子のふるさと選手について着実な対応を取ることが要請された。
- 競技委員長より、北海道選手権大会のグラウンドについて説明があった。例年使用していた定山溪グラウンドが、8月のリオデジャネイロオリンピックに出場する7人制ラグビー女子日本代表の事前合宿とニュージーランドオークランド州男女代表の合宿を行うことになり、北海道選手権大会での使用が制限されるため、小樽市望洋サッカー・ラグビー場の使用や2面あるグラウンドの使用拡大などに関係する支部理事と競技委員会で検討を行うことが確認された。
- これに関連して、野幌運動公園ラグビー場と千歳青葉公園ラグビー場の整備計画の工程が報告された。

#### 5. 北海道協会招待試合東海大学対明治大学戦について

- 東海大学対明治大学戦の現在までにまとめた実施案について、資料に基づき説明があった。
- オープニングイベント及びメインゲームのスケジュール、運営スタッフ、オープニングイベント内容などについて説明があり承認された。
- オープニングイベントは、タグ・ミニラグビー、高校ラグビー、女子セブンズラグビーを行う。

#### 6. 支部選出理事の改選について

- 平成28年度は支部選出の理事と評議員の改選となることから、各支部においては支部選出理事・評議員の変更を庶務担当理事に連絡することが要請された。

#### 7. RWC2019 情報

- RWC2019 担当理事の副理事長より、RWC2019に係る公認チームキャンプ地選定プロセスの実施概要が承認されたことについての説明があった。
- 5月にラグビーワールドカップリミテッド理事会で承認されたのちに、正式に公認チームキャンプ地の募集要項が発表される。
- 公認チームキャンプ地の募集要項の発表日が決定した時点で、改めて事前登録自治体へ案内が来ることになっている。
- RWC2019に関連して、新トーナメントマークのピンバッチの配布について説明があった。協会役員及び登録チームの役員・競技者に対するピンバッチが3月末に届く予定であり、登録チームには登録更新時に支部を通じて配布する予定である。また、配布の要望が来ている地方自治体などへの配布についてはRWC2019組織委員会から4月以降に配布プロセスについて連絡が来ることになっている。

#### 8. 女子委員会の設立と女子セブンズラグビー大会について

- セレクションコミッティ・強化委員長より、女子委員会の設立の経緯と女子セブンズラグビー大会の開催について説明があった。
- これまで女子ラグビーは、セレクションコミッティ・強化委員会の女子部門として全国高等学校選抜女子セブンズラグビー大会や道内大会への出場を行ってきたが、オリンピックや国体への参加を強力に促すために女子委員会を設立するとの説明があり承認された。

- ・ 女子セブンズラグビー大会については、正式な大会として立上げるものとし、開催は、北海道選手権大会に併催する案、ラグビーフェスティバルの中に大会を入れる案などがあり、女子委員会で検討し北海道選手権大会競技委員会との摺合せを行い早期に決定することが確認された。
- ・ 女子セブンズラグビー大会の開催においては、北海道新聞社から協力の意向があることから、冠大会とすることも考えて北海道新聞社と協議して行くことが承認された。
- ・ 女子ラグビーにおいては、RWC2019 や東京オリンピック 2020 で主力となるのは現在の高校生であり、高校生を重視した取り組みを行わなくてはならない。女子セブンズラグビー大会においても高校生が参加することになるが、高体連の規約などに則った整理を行う必要があることと、高体連ラグビー専門部との連携を重視することが確認された。
- ・ 女子ラグビーに関連して、レフリー委員長より、女子レフリーの育成について高校委員会や加盟チームなどの協力が要請された。

#### 9. コーチ資格について

- ・ コーチソサエティ・安全推進対策委員長より、コーチ資格（指導者資格）について確認があった。
- ・ 加盟チームに対して指導者資格の保有者をチームの監督、またはコーチとして置くことを義務付けており、女子チームにおいても同様となる。
- ・ コーチ（指導者）の講習、研修及び資格の有効期限などの資格制度の変更があったことから日本協会ホームページ「コーチネット」で確認すること。
- ・ 北海道協会での総括は、増谷コーチソサエティ・安全推進対策委員長が行っていることから、わからないことがあれば相談すること。

#### 10. 今後の会議日程について

- ・ 第3回理事会 4月24日（日）11：00～ （株）開発工営社会議室
- ・ 第1回評議員会 4月24日（日）13：30～ アスティ 45ビル8階会議室

以上